

誠心誠意諸君ノ立場ヲ考慮シ景氣ノ回復ヲ待テ其ノ
間凡ユル方法ヲ施シ之ヲ経営ニ屬心シ更リタルク最
近ノ營業狀態ハ到底維持ニ困難ナル窮狀ニアリ諸君
ノ要求ニ對スル回答ハ全ク最大限度ノモノナルヲ以
テ何卒會社ノ窮境ヲ理解シ速クニ解決スル様努力セ
シレ度シト諒解シ求メ尚重役ノ私財提供云々ノ件ハ
終末會社経営上個人保証違為シ居リ以テ現在ニ於テ
ハ遺憾ナカクテ要求ニ急ニ應ジ實狀ニアリト回答シ交
渉不調ニ終リタリ

二月九日午前十一時ヨリ會社庶務室ニ於テ職工
側ハ交渉委員植田忠一郎外九名會社側ハ林增田横川
ノ各重役出席シ交渉シ開始セルカ職工側ハ前回同様

要求書ニ固執シ會社側亦前合標ノ回答ヲ為シ何等妥
協点シ見ス一時交渉シ打切リタリ

午後零時二十分復日本共働隊同盟南葛支部主席山田
鶴松大日方製炭男ノ兩名ハ交渉委員植田忠一郎ヲ訪
問シ種々打合セノ後會社側ニ會見シ申込ニ午後一時
ヨリ庶務室ニ於テ交渉委員植田忠一郎外九名ト共ニ
小次社長増田重役ト會見シ大日方ヨリ自下ノ社會一
般ノ狀勢ヨリ見ル時ハ今少シク要求スルニ至當ト認
ムルニ會社現在ノ苦境ヲ知悉シ居ルヲ以テ最大限度
シ要求シタルニ拘ラス容認セシレサルハ甚々遺憾ナ
リトシ他ノ工場ニ於ケル共働隊決議解決條件ノ例ヲ引
キ會社ノ再考ヲ促シタルニ會社側ハ依然前案ヲ固持ス